

カーボンニュートラル社会実現に向けた SF6ガス規制の動向と、 黎明期におけるSF6フリー開閉装置の 開発および最新の開発動向

講師：六戸 敏昭 氏

(株)日立製作所/2023年IEEE Fellow

2024
12/26 木

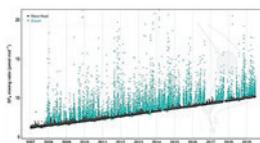
15:00 ▶ 16:30

アンケートのご協力をお願いします



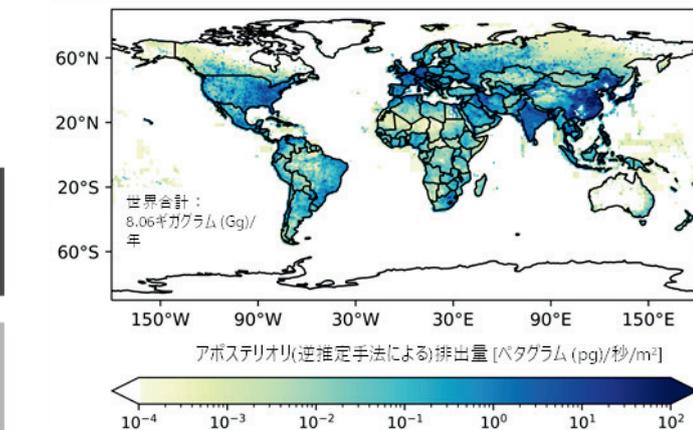
2050年までにカーボンニュートラル社会を実現するためには、再エネ電源導入拡大を支える送電網の増強に加え、送電網を構成する設備からの温室効果ガス排出削減も必要です。このような流れを受け、開閉装置ではSF6ガス（六フッ化硫黄）を使用しないSF6フリー技術への移行が進展している。このような状況を踏まえ、講演者は、黎明期からSF6フリー開閉装置の開発に従事してきました。本講演では、世界初の高電圧向けSF6フリー開閉装置の実用化を成し遂げた研究・開発における苦労や成果に焦点を当てるとともに、近年、欧米を中心に強化されているSF6規制と、それに対応するSF6フリー開閉装置の最新開発動向について紹介する。

SF₆ガスがもたらす影響 – 世界のSF₆ガス排出量の割合とマップ



現在のSF₆（六フッ化硫黄）の大気濃度は、地球温暖化に0.22%影響

年間8,000トンを超える世界のSF₆ガス排出量は、世界の航空業界の排出量の5分の1に相当



開催場所 機械振興会館 6階 6-67
★ZOOM併催

主催 共催 IEEE 東京支部 TPC (Technical Program Committee)
IEEE 東京支部 LMAG (Life Members Affinity Group)

お問合せ

IEEE東京支部事務局



tokyosec@ieee-jp.org